

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の分析について

6年生を対象として「令和元年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月初旬に個人ごとの結果を返却しました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要について吹田市のホームページを通じて公表しております。

本調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語科と算数科に限って実施しております。したがって、測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが本調査のねらいです。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取組を進めるとともに、学校全体として課題に正対した指導方法の工夫も図ってまいります。ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として参考にさせていただきますようお願い申し上げます。



### 1 教科に関する調査結果の分析

昨年度までは、国語科、算数科ともに「A問題」主として知識を問う問題と、「B問題」主として活用を問う問題とに分けて実施しておりましたが、今年度からA・Bを一体的に問う問題と変更されています。

#### (1) 国語科<<概要>>

本校児童の平均正答率は全国平均値を上回り良好である。14問中9問以上を正答した児童の割合が多い。全国的には書くことの領域が低い傾向にあり、本校も同様に自分の意見をまとめて書くことに課題がみられた。

#### 各領域における成果と課題

##### 【話すこと・聞くこと】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値をやや上回っている。
- ・「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」ことに課題がみられる。

##### 【書くこと】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値をやや上回っている。
- ・「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」ことに課題がみられる。

##### 【読むこと】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値をやや上回っている。
- ・「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」ことに課題がみられる。

##### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値をやや上回っている。

## (2) 算数科《概要》

本校児童の平均正答率は、全国平均値を上回り良好である。14問中10問以上を正答している児童の割合が多い。式の意味を理解することや説明を記述することに課題がみられ、設問によっては平均正答率が低いものもあった。

### 各領域における成果と課題

#### 【数と計算】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値をやや上回っている。
- ・「除法の式の意味を問う」問題に課題がみられる。



#### 【量と測定】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値を上回っている。また全ての設問で全国平均値を上回っており良好な結果となった。
- ・「図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する」問題は、平均正答率が低く課題である。

#### 【図形】

- ・本校児童の平均正答率は、全国平均値をやや上回っている。また全ての設問で全国平均値を上回っており良好な結果となった。
- ・「図形の性質や構成要素に着目する」問題は、平均正答率が低く課題である。

#### 【数量関係】

- ・本校児童の平均正答率は全国平均値を上回っている。
- ・多くの設問で全国平均値を上回っており、良好な結果となった。



## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### (1) 自分自身のことについて

- ・「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合は、全国平均値を上回っている。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」・「いじめはいけないことである」など、他の人との関わりについて質問は、肯定的に回答した児童の割合が多い。
- ・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合は、全国平均値とほぼ同じ結果となった。

### (2) 学習環境・生活環境について

- ・「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合は全国平均値をやや上回っている。
- ・「家で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合は全国平均値をやや下回っており、肯定率も70%程度と低く課題である。
- ・「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答した児童の割合は全国平均値をやや上回っている。
- ・「平日、家庭等で1時間以上学習している」と回答した児童の割合は全国平均値を下回っている。また、30分以下の児童の割合は、全国平均値をやや上回っており課題である。
- ・「平日、家庭等で30分以上読書をしている」と回答した児童の割合は全国平均値を上回っている。
- ・「読書は好き」と回答した児童の割合は全国平均値を上回っている。

### (3) 地域とのつながりについて

- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は、全国平均値とほぼ同じ結果となった。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童の割合は、全国平均値を下回っている。

### (4) 外国の人との関わりについて

- ・「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」と回答した児童の割合は、全国平均値をやや上回っている。
- ・「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と回答した児童の割合は、全国平均値を上回っている。

## 3 今後の取組について

本調査の結果から、本校児童の学力は全体的に全国平均値を上回り、良好な結果となりました。国語科において具体的には、①例を示すこと②根拠を明らかにすること③フォーマットを使用するなどの手立てをとった指導をおこなっていきます。算数科においては、国語学習で培った叙述の力を基本にして、本文から得られる情報をもとに、線分図やテープ図などの半具体物の使用を習慣化していきます。

### (1) 子どもたちの学ぶ意欲を喚起する授業づくり

- ・授業のはじめに主体的に学習に取り組むための課題を設定し、対話的で深い学びができるように工夫して学習を進めます。授業の終わりには、学習内容を振り返ることで深い学びにつながったかを把握し学び合える授業を展開します。
- ・個々の学習評価を細やかにを行い学習理解のつまずきに対応するなど、個に応じた学習指導を行います。
- ・幼小中一貫教育の推進による、系統的で継続性のある教科指導を目指しています。
- ・ICTを活用した授業の研究と「プログラミング」の授業実践を行っています。
- ・「地域との関わりについて」は広範囲に渡ってご協力を頂いています。今後ご協力お願いします。

### (2) 授業規律、生活規律の確立

- ・道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間をはじめ様々な教育活動を通して、子ども同士が関わり合える場面を意図的・計画的に設定し、お互いを認め合い、学び合って成長できるように取り組みます。また、6年間を見通した規範意識の醸成に努め、「ベル着」などの学習規律の徹底を図ります。
- ・子ども自身が主体的に活躍できる役割を与えたり、場を設けたりすることで、責任感を育み自己有用感や自尊感情が高められるようにします。
- ・生活習慣の見直しや学習時間の確保を呼びかけ、家庭の学習環境の向上を目指します。

### (3) 習熟度別授業等、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導

- ・児童の実態に応じた習熟度別指導の充実を図っていきます。
- ・少人数指導における指導方法、指導形態の検証と改善を行います。

(3年生～6年生の算数科)

#### (4) 自学自習力の育成

- ・家庭学習習慣の確立として、家庭学習時間を必ず決めて行うように指導しています。学年によっては予習・復習のための自主学習に取り組んでいます。各学年の家庭学習時の時間を低学年 30 分・中学年 40 分・高学年 50 分を学習の目安にしています。
- ・放課後、算数の補習・学習支援を行っています。
- ・思考力・判断力・表現力の基盤を支える読書活動の充実を行います。



教科に関する結果を踏まえ、子どもたちの成長段階に応じた授業の工夫や学ぶ意欲を高める授業づくりをさらに進めてまいります。子どもたちが自主的に学ぶ力をつけるとともに、自己の生き方について見つめ、将来の夢や目標が持てるようにしていきます。また、道徳科を通して道徳的価値観を学び物事を多面的・多角的に捉え考えを深める学習をしています。人権教育では、思いやる心・平和を大切にする心など「豊かな人間性」の育成に取り組んでいます。すべての子どもたちの人権が尊重され、安心して学ぶことができることを目標にしています。

また、学校では、児童会を中心にして異学年交流や「夏休みの作品展」・「運動会の応援合戦」などを企画し、子どもたちが主体的に活動できるような取組を行っています。子どもたちが地域や社会の事柄にも関心を持ち積極的に地域の行事へ参加できることを願っています。生活環境や学習習慣の結果を踏まえ子どもたちの学びを人生や社会に活かそうとする気持ち「学びに向かう力」がさらに育ちますように、ご家庭での幅広いご協力をお願いいたします。

